

障害年金の廃疾認定日が

変更されました

三年から一年六ヶ月に――

国民年金の障害年金や障害福祉年金は、病状やけががもとで障害者になったときに受ける年金ですが、これらの年金を受ける条件の一つに「廃疾認定日」があります。

廃疾認定日とは、障害のもとになった病状やけがの症状が治療しても効果が期待できないときは、初診日（はじめに医者にみえた日）から三年経った日、三年以内に症状が固定したときは、その日を廃疾認定日と定めていました。が、この廃疾認定日が五十二年八月一日から半年の一年六ヶ月に短縮されました。

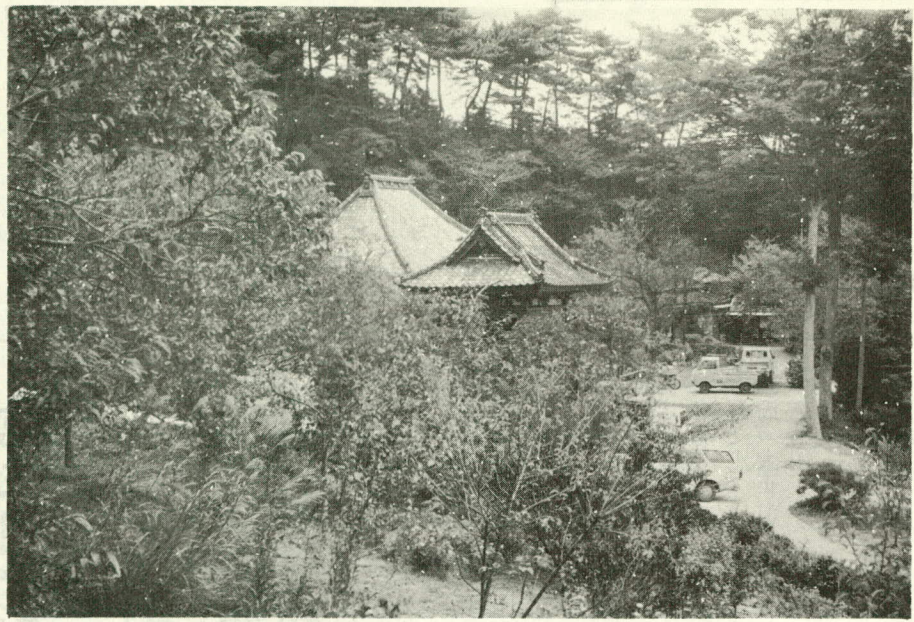
最近では重症の内臓疾患など

心身障害者の

就職相談を一手に！

茨城心身障害者職業センターが、友部町立リハビリテーションセンター内にこのたび開始されました。

心身障害者の職業相談と指導、職業能力と適性の判定、



小高山皇徳寺の全景

ふるさとめぐり

小高山皇徳寺

バス停の橋門寺下から東へ百ほど行くと、左手に山門が見え、一段高いところに鐘楼、その奥には本堂、庫裡等の伽藍がきちんと配置されております。これが曹洞宗小高山皇徳寺です。

天文二年（一、五三三）十一月雪庭梵立和尚の開山により、小高城主である小高太郎為幹が創建したもので、その当時は、大字小高の現在の常光院の地にありましたが、天正十九年（一、五九一）小高城の落城とともに、兵火によって伽藍を焼失しました。

その後、大字四鹿など三ヶ所ほど変わって、元禄十三年（一、七〇〇）現在の地に移転したものです。

現在の本堂は、明治三十四年三月に再建されたものです。

麻の広場

献血50回で表彰

島並の小田さん



表彰された小田さん

五十回にわたって献血に協力してこられた大字島並の小田忠勝さん（三十歳・会社員）は、このほど日本赤十字社の創立百周年にあたり表彰を受けられました。

小田さんは、献血の重要性

を認識して、さる四十一年一月に初めて当町で献血をされました。

町では、毎年四回定期的に移動採血を実施しており、年間約四百人の血液の提供者がおります。近年は、交通事故の多発や医学の発達による外科手術等が増加をたどる一方で、それにともない輸血の必要量が増え続けております。

幸い小田さんは輸血を必要としたことはありませんが、尊い人命を救うとともに、自分が万一輸血を必要とするときにそなえて献血をしています。「これからも、移動採血の機会には愛の献血を続けていきたい」と語っています。

なお、小田さんは献血に關しての体験発表をするなど熱心な協力をされています。

検察審査会のご利用を

交通事故、詐欺、盗難などの被害にあつて、警察や検察官に届けたのに検察官がその事件を裁判にかけてくれない（不起訴処分）。あるいは、選挙違反や汚職など社会の耳目をひいた重大な事件を検察官が裁判にかけないのはどうも納得できない。

こんな不満をもっている方はいませんか。そういう方のために検察審査会があります。検察審査会は、選挙人名簿をもとに広く国民の中からくじで選ばれた十一人の検察審査員が、いわば民間人を代表して検察官の仕事のやり方を審査するという制度で、審査員は六ヶ月ごとに交替します。あなたがいつか審査員になるかもしれません。

検察審査会では、事件の記録を調べたり、必要に応じて証人を呼んだり、実地見分をしたりして、検察官の不起訴処分が適当かどうかを慎重に審査します。その結果起訴すべきかどうかという議決がされた場合には、検察庁では、この議決を参考にして捜査をやり直し、起訴するのが相当だと結論に達したときは、起訴の手続がとられます。

料理飲食等 消費税の一部が改正

料理飲食等消費税の一部が 昭和五十二年十月一日から次

第8回

町民体育祭

とき 11月3日(文化の日)
雨天の場合 6日(日)
ところ 町民グラウンド

十一月の年金相談

日時 二十四日(木)午前十時～午後三時
場所 麻生町役場

十一月の心配ごと相談

日時 十七・二十四日(毎週木曜)午後一時～三時
場所 麻生町役場

俳句

雲湧きし峰の彼方や渡り鳥
萩咲いて湖畔の町や遠筑波
渡り鳥浦辺の松を圧しけり
白萩のそそとゆれおり道の端
門前の萩乱れ咲く薄月夜

短歌

勤めもつ身にゆとりなく出勤の
背に夏休みの宿題問はるる
部屋ぬちに捕虫網ふりガラス割る
孫の仕草におのが血を見る
建て増してわれの個室も定まりぬ
使い慣れたる調度陳べて
炎熱のいまだ残れる森の上
赤き満月今のほりたり
鬱虫すさまじきまですだきをし
降りつく雨の家居のつれづれに
稚なき将棋を孫と指し合う

瀬尾 孝子
箕輪徳二郎
高寺 襲
新橋 稔
羽生たけ子
箕輪 憲夫

戸籍の窓口

おめでとございます

出生者	世帯主	住所
羽生 文喜	峰 夫	富田 所
永作 美緒	徳 衛	富田 幸
永作 ひとみ	吉 平	富田 生
箕輪 優子	勝 男	富田 新
大矢 武則	一 祝	富田 子
瀬尾 充	亮	富田 矢
折笠 秀明	霞	富田 幡
橋本千恵子	栄	富田 白
宮内 幸子	留 治	富田 岡
茂木 康明	宗五郎	富田 四
菅沼 薫子	正 義	富田 鹿
菅谷由樹江	恒 雄	富田 鹿
根本 一徳	和	富田 鹿
倉河 則行	宏 明	富田 小
藤崎 仙昭	仙 一	富田 天
菅谷 将彦	薫	富田 下
小沼 勇人	幸 男	富田 下
大輪 昌宏	貞 義	富田 五
植田 陽子	敏 郎	富田 島
永沢 昌子	定次郎	富田 島
畑木みゆき	広 美	富田 高

職員の異動

九月一日付で職員の異動がありました。(一)内は旧所属です。

◎退職 椎木正直(出納室長)
◎異動 出納室長高野敏子(財政係長) 財政係長久保田喜治(福祉係長) 福祉係長根本拉吉(税務課) 税務課永井新衛(企画観光課)

